

## 平成 27 年 12 月(第 9 回)理事会概要

### I. 審議事項(承認事項)

1. 11 月企画会議後スカウト章認証 ・菊 章:呼坂 拓(千葉 13)、安原 志帆(市川 2) <承認>
2. 平成 27 年度定型訓練・定型外訓練開設計画及び主任講師一覧
  - ・団委員研修会 北総 12/6 斉藤/光延に講師交代、救急法(技能章コース) 3/13→3/20 に日程変更
3. 平成 28 年度定型訓練・定型外訓練開設計画(案)が承認された。
4. 平成 28 年度日本ボーイスカウト千葉県連盟事業予定(案)が承認された。
5. 第 23 回世界スカウトジャンボリー千葉県連盟決算報告書(案)
  - ・収入は総合計 64,167,661 円(雑収入 1,021 円が未確定)。支出は 62,958,321 円(事務・通信費が県連盟への振り込み費が加わる)で差し引き 1,208,476 円のうちテント購入費 600,000 円は未購入のため維持財団に返金し、残り 608,476 円を県連盟会計に返納することが承認された。
6. 第 20 回記念千葉県キャンポリーについて
  - 1) 実行委員の募集について
    - ・ボーイスカウト隊の指導者で参加隊指導者にならなかった方に、各部の実行委員として参加願う。
    - ・総務部 47 人、プログラム部 48 人、安全・救護部 29 人、施設管理部 26 人、食糧部 15 人の 165 人。
  - 2) シンボルマークデザインの募集
    - ・タテ 5cm×ヨコ 8cmを目途として、図柄を書き(タイトルなどは実行委員会で入れる)、1 月 30 日までに県連盟事務局へ。
  - 3) 第 20 回記念千葉県キャンポリー情報伝達の流れ
    - ・県連盟⇔実行委員会⇔総務部→地区→団(保護者まで)の情報の流れ図が示された。
  - 4) 会場、施設などの確定状況
    - ・行政との打ち合わせを進めている。・富津市、教育委員会の後援を頂く予定。
    - ・実施要項をまとめ 1 月理事会に提出する。
7. 第 12 回日本アグーナリー(12NA)千葉県連盟派遣団について
  - 1) 実行委員の追加承認について
    - ・渡辺 由美(市川 3) の追加申請が承認された。
    - ・10 月、11 月理事会で承認された実行委員紹介  
磯部 静江(千葉 25)、川野 重一(船橋 5)、藪野 和男(松戸 9)、花野 紘彰(大網白里 1)、落合 啓子(八千代 5)、河辺 尚孝(柏 7)
  - 2) 12NA 千葉県連盟派遣団のシンボルマーク募集
    - ・縦 8cm・横 9cmに納まり、色は 8 色以内。応募資格は問わない。1 月 29 日(金)県連盟事務局へ。

### II. 報告事項

1. 平成 27 年 11 月末登録状況
  - ・27/11 末 6,926 人/110 団 前年同月比 -433 人、前年度末比 -605 人
2. 各種委員会報告
  - 1) スカウト章認証紹介・・・11 月企画会議承認分
    - ・菊 章:藤山 創太(印西白井1)、寺田 伊吹(千葉 13)、石井 亮汰(市川 6)、水時 阜明(市川 6)、櫻井 美乃(船橋 17)
  - 2) 国際委員会・・・日韓スカウト交流プログラム関係
    - ・ホームステイ受入: 12 月 5 日に各地区へ受入家庭の推薦を依頼した。
  - 3) 12NA 準備委員会
    - ・11 月 15 日に第 1 回スタッフ会議を開催した。
    - ・実行委員会の組織をどのようにするか話し合い、隊活動の支援を計画した。
3. 県連盟コミッショナー報告
  - 1) 平成 27 年度県連盟内コミッショナー研究集会報告
    - ・11 月 14 日 千葉県立東金青年の家 講師:増田日本連盟副コミッショナー
    - ・県連盟正副コミッショナー 4 人、団担当コミッショナー7 人、地区正副コミッショナー 37 人

・セーフ・フロム・ハームの研究、魅力あるラウンドテーブル～一歩前へ～、スカウティングの中の基本動作～規律と秩序はなぜ必要か～ について研究した。

2) 地区コミッショナー、トレーナー勉強会開催報告

- ・11月3日 千葉県青少年女性会館 ・地区コミッショナー 11人(トレーナー兼務者、代理含む)、日本連盟トレーナー 16人 合計 27人
- ・ウッドバッジ研修所、団委員研修所課題研修、ウッドバッジ実修所、団委員実修所課題研究における地区コミッショナーとトレーナーの協働について理解することを勉強した。

4. その他

(1) 平成 27 年度全国事務局長会議報告

- ・11月14日～15日 国立オリンピック記念青少年総合センター
  - 日本連盟創立 100 周年を目指した長中期計画答申案が 3 月末に発表される。
  - 上半期の状況:(1)「もったいないハガキ」運動により、年間 100 万円ほどの原資が可能になり、ひとり親家庭への補助が始まった。(2)折り鶴キャラバンに 5 万人が参加した、イオン様とのつながりを続けていきたい。(3)高萩フィールド事業については、82 万坪のうち、現状では 1,000 人に対するキャンプ地を開拓中。
  - 「そなえよつねに共済」へ加入できる対象者に「それ以外の乳幼児」が加わり、非加盟員の乳幼児すべてが平成 28 年度から加入可能になる。
  - セーフ・フロム・ハームのガイドラインとポリシーが公表された。

(2) ボーイスカウトカード「ICカード化」のお知らせ

- ・新規申込者及び有効期限の更新による新しいカードから、ICチップが埋め込まれたカードになる。
- ・ボーイスカウトカードの使用により、日本連盟織還付金があるので、是非カードを使用願いたい。

(3) 新記章について、地区からの申込分を配布した。

(4) 年末年始の閉局について

- ・平成 27 年 12 月 27 日(日)～平成 28 年 1 月 5 日(火)まで閉局する。

以上